

# 株式会社 構造ソフト

## 今月のイチオシ

2020年10月号

### 拡張情報

### Q&A (適判等からの指摘事例)

「BUILD.耐診 RC/耐震補強オプション」(Ver.8/6.1(7.50R4)) ……P1

「BUILD.一貫V」Q&A ……P6

### ◆「BUILD.耐診 RC/補強オプション」(Ver.8/6.1(7.50R4))

・構造品質保証研究所株式会社の「EP2<sup>※</sup>」と連携できるようになりました。

「BUILD.耐診 RC/耐震補強オプション」では、以前から構造品質保証研究所株式会社の SRF 補強部材を取り扱うことができ、耐震補強設計にご利用いただいています。

この度、構造品質保証研究所株式会社が開発されているプログラム「EP2」<sup>※</sup>と連携することで、SRF 補強のご提案（算定計算結果）から「BUILD.耐診 RC」の入力データを自動作成する機能を追加しました。今回は、この機能についてご紹介します。



なお、SRF 補強に関する詳細は、構造品質保証研究所株式会社のホームページをご覧ください。


<https://www.sqa.co.jp/>

※ 「Earthquake-resistant Design Program 2 for BUILD.耐診 RC」

## ・「EP2」との連携の事前準備

構造品質保証研究所株式会社のホームページで SRF 研究会に登録し、会員専用のホームページから「EP2」を入手します。

入手した「EP2」を「BUILD.耐診 RC」と連携するためのフォルダを作ってコピーして保存してください。フォルダ名は任意ですが、「BUILD.耐診 RC <統合版>」がインストールされているフォルダの中に分かり易い名前（例 C:\¥KSOFT¥BuildTi7¥SRF¥EP2File）で作成することを推奨します。

「BUILD.耐診 RC <統合版>」を起動し、メニューバーの [SRF] - [EP2 の設定] を選択します。環境設定画面が表示されるので、「EP ファイルの場所」の右端の  を押して、「EP2」を保存した連携用フォルダ（例 C:\¥KSOFT¥BuildTi7¥SRF¥EP2File）を指定してください。



## ・「EP2」との連携

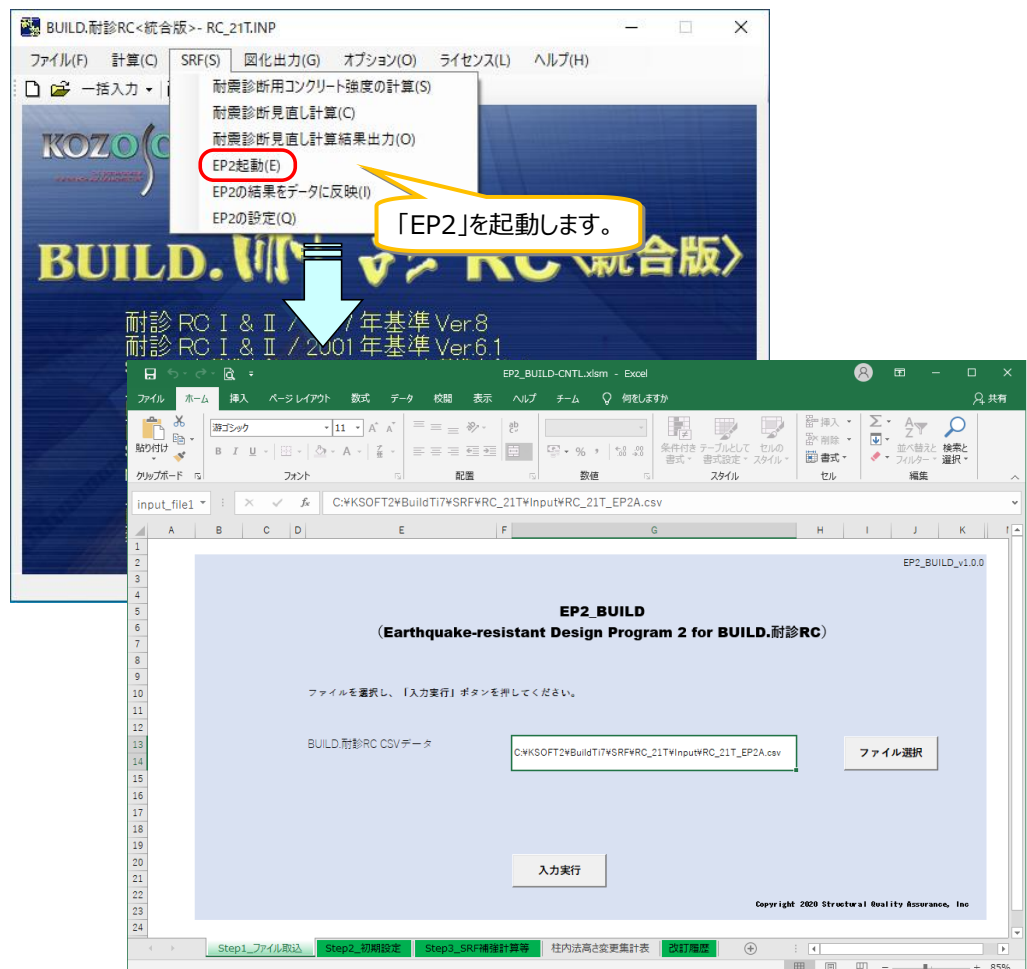
「BUILD.耐診 RC <統合版>」で物件を開いて一連計算を行います。使用する物件には SRF 補強部材が配置されていても、SRF 補強部材が配置されていなくてもどちらでも構いません。



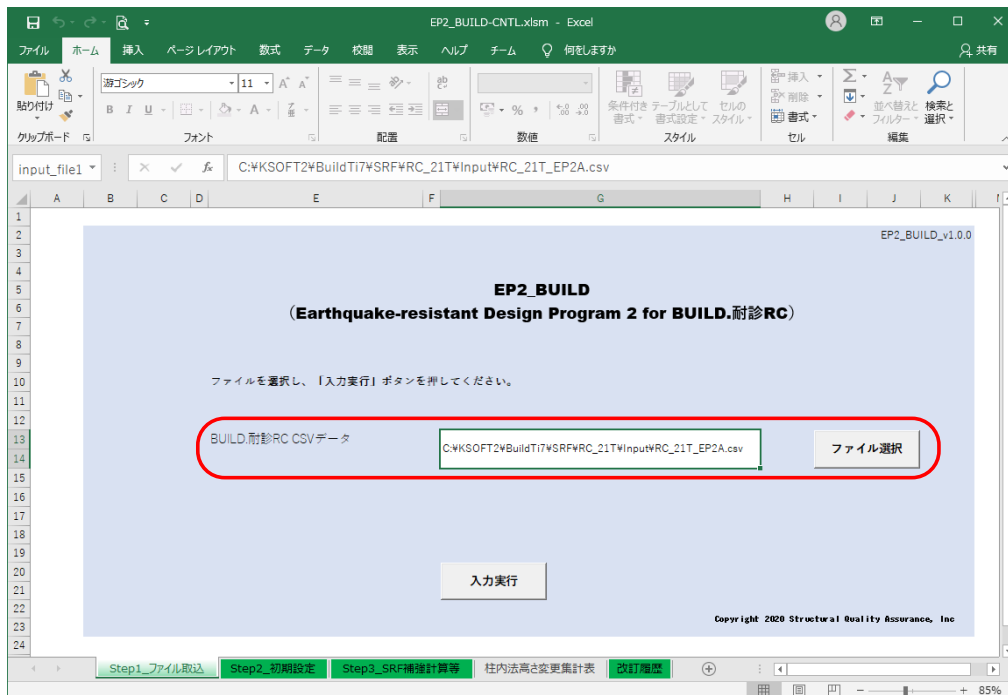
一連計算が終わったら、続けて、メニューバーの [SRF] - [耐震診断見直し計算(C)] を選択します。計算条件を変更して計算を行います。この時、プログラム内部で計算条件を変更して計算を行うので、入力データはお客様が作成した状態を保持しています。



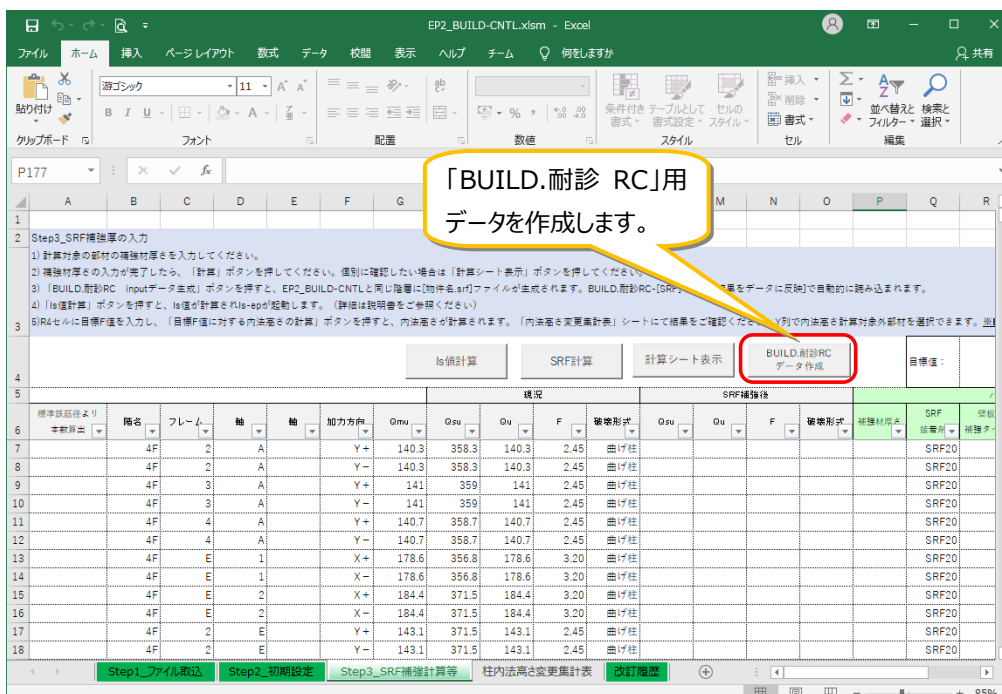
次に、メニューバー [SRF] - [EP2 起動(E)] を選択すると、「EP2」が起動します。



「EP2」で「BUILD.耐診 RC」 CSVデータを指定します。

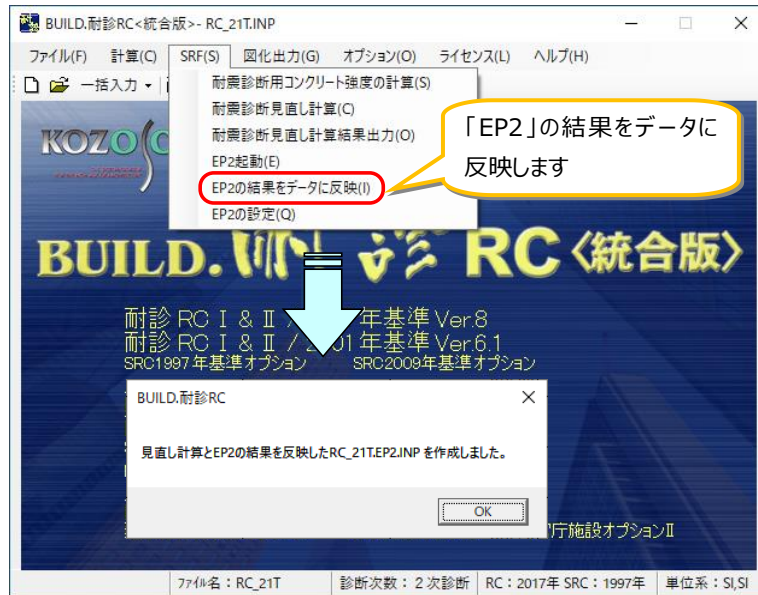


SRF 補強部材の算定計算を行ったら、「BUILD.耐診 RC」用のデータを作成してください。なお、「EP2」の操作方法は、構造品質保証研究所株式会社から提供される資料をご参照ください。

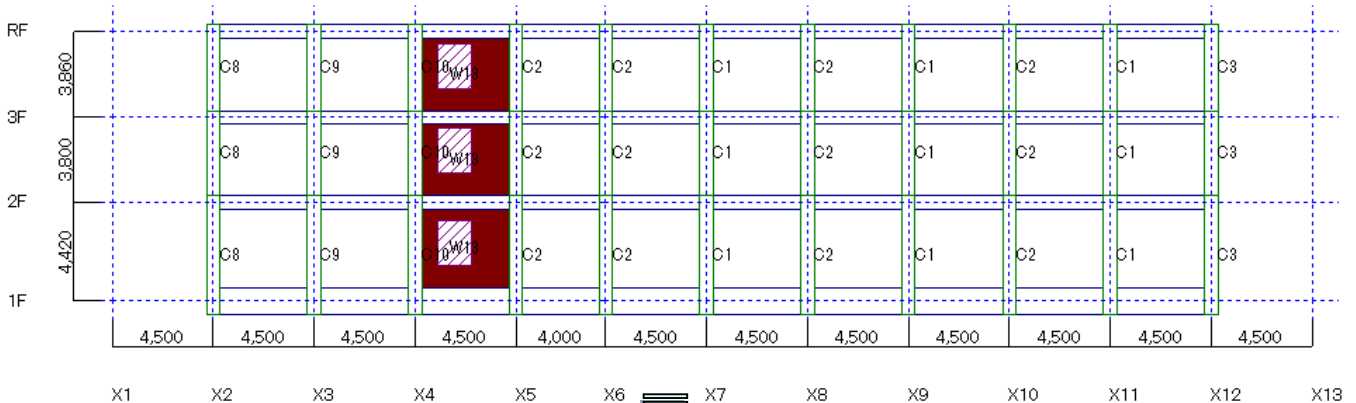


「BUILD.耐診 RC<統合版>」に戻り、最後に、メニューバーの [SRF] - 「EP2の結果をデータに反映(I)」を選択します。

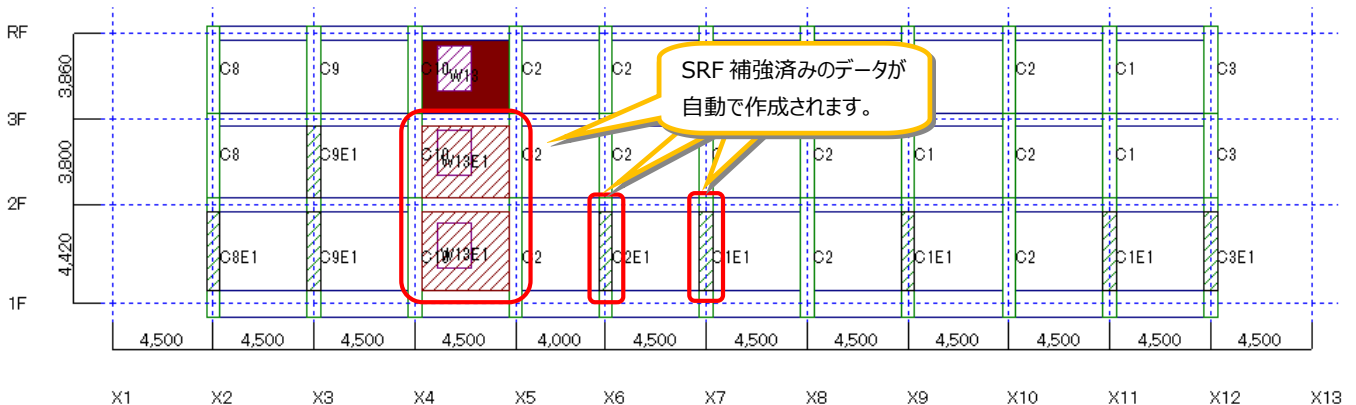
これで「EP2」で算定した SRF 補強部材の情報を反映した「BUILD.耐診 RC」の入力データが作成されました。この時、作成された補強データのファイル名は「物件名.EP2.inp」というように元のファイル名に「.EP2」を付加しますので、算定結果を反映する前のデータはそのまま保持されています。



【補強前のデータ (軸組図)】



【補強後のデータ (軸組図)】



## ◆「BUILD.一貫V」Q&A (適判等からの指摘事例)

### タイトル：スラブ上の雑壁があるのに「剛性に考慮する雑壁の配置はありません。」と出力されていると指摘された

Q. 確認検査機関より、地下階のある建物に関して、スラブ上の雑壁があるにも関わらず、計算書の「雑壁の剛性表」に「剛性に考慮する雑壁の配置はありません。」と出力されているのはなぜですかと指摘を受けました。どのように説明すればよいでしょうか？

A. スラブ上の雑壁が地下階に配置されていることが原因です。

計算書の「雑壁の剛性表」に出力する雑壁は、剛性率と偏心率の計算に考慮する雑壁となります。地下階は、剛性率と偏心率の計算対象ではないため、考慮する雑壁は存在しない扱いとなり、「剛性に考慮する雑壁の配置はありません。」と出力されます。

※ [弊社ホームページのQ&A](#) では、この他にも、適判等からの指摘事例のQ&Aを200件以上、通常のQ&Aを3480件以上掲載していますので、ご活用下さい。なお、Q&Aの閲覧には[サポート会員登録](#)が必要です。